



訪問診療・往診専門

医療
法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ通信

No.26

令和2年4月

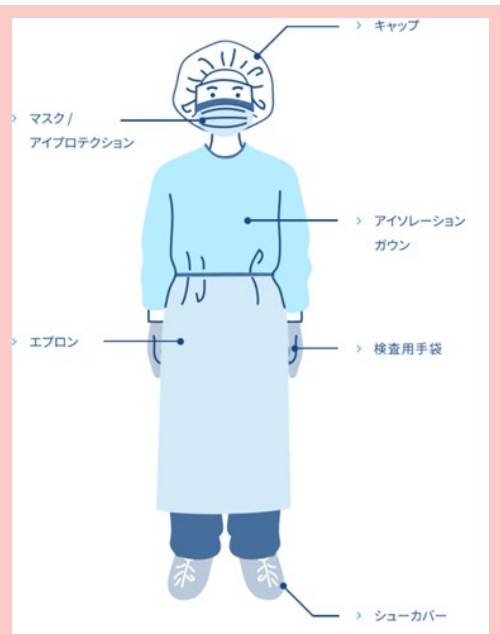
新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い

新型コロナウイルスに関するニュースが毎日報道され、ご不安な毎日をお過ごしのことと存じます。2020年3月13日12:00の時点では、国内の新型コロナウイルス感染者数は、675例、死亡者は19名と、まだ収束の兆しはみえません。3月13日、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法が成立しました。医療機関としては、最悪の事態を想定しながら準備を行っていきたいと考えています。さらなる感染拡大防止の観点から、訪問診療（往診）において下記の3点について、みなさまにご協力、ご理解をお願いしたいと思っております。

- ① 患者さんの体調の変化（発熱や倦怠感など）がある場合は、
予めお電話（クリニック：088-679-6393）でのご連絡をお願いします。
ご家族におかれましても、手指消毒、うがい、マスクの着用などを引き続きお願いします。
- ② 安定している患者さんにつきましては、接触回数を減らす観点から、訪問回数を減らし、
電話での体調確認（電話再診）とさせていただきます。
状態に変化がなければ、継続の内容で処方箋を発行します。
- ③ 万が一、徳島県において感染拡大期に入った場合、感冒様症状がある在宅患者さんの診察は、
飛沫感染や接触感染を想定した標準予防策を行わせていただきます。

※標準予防策とは、使い捨てキャップ、サージカルマスク、フェイスシールド、サージカルガウン、手袋などを着用し、感染防止対策を行うことをいいます。

（院長 笠松 哲司）



【参考】

- 新型コロナウイルス感染症患者の増加に際しての電話や情報通信機器を用いた診療や処方箋の取り扱いについて
（厚生省事務連絡 2020年2月28日）
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療所・病院のプライマリ・ケア初期診療の手引き（2020年3月11日）
- 厚生労働省：新型コロナウイルス感染症について
- 徳島県ホームページ





訪問診療・往診専門

医療
法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ通信

No.26

令和2年4月



新型コロナウイルスの猛威が止まりません。この通信を書いている4/6時点で、徳島県内でも3名の感染者が確認されています。東京や大阪といった大都市では、“感染爆発”“医療崩壊”“都市封鎖”目前のぎりぎりの局面であると毎日報道され、明日にも「緊急事態宣言」が発表されるのではとされています。

(追記：4/7に7都府県を対象に「緊急事態宣言」が出されました)。目に見えないウイルスは、人の移動とともに全国各地に伝播されています。新学期、新年度のはじまりとともに、徳島県内でも、程度の差こそあれ、クラスター感染が起こるかもしれません。

感染しても無症状や軽症の方も多いと言われていますが、特に高齢者や持病のある方が感染して肺炎症状を来すと、その進行はとて早く、致命的でもあると言われてます。

気管切開をしている方も多く、呼吸器感染症には特に注意をしなければならない「医療的ケア児」さんにとっては、周りの方がウイルスを持ち帰ってこないことが重要になるでしょう。

全国的に、マスクや消毒液の不足が大きく報道されています。不織布タイプのマスクが手に入りづらく、布マスクを手作りされる方も増えています。小さなお子様向けの資料ですが、布マスクを使用しているときの注意点などもわかりやすく描かれていますので、こちらにも紹介します！<https://oshiete-dr.net/pdf/2020COVID2019mask.pdf> (複製配布OK)

毎日暗いニュースが溢れていますが、恐れすぎず、自分にできることをやって予防に努めましょう！
(小児科 笠松 由華)



「第8回日本医師会赤ひげ大賞」におきまして、今回から新設された「赤ひげ功労賞」を受賞致しました。コロナ禍のため、3/13にパレスホテル東京で予定されておりました授賞式は来年に延期されましたが、日本医師会より賞状と副賞の「日医君」が届きました！

新任医師紹介

はじめまして！森 敬子（もり けいこ）です。

専門は内科です。クリニックでは週1日の勤務ですが、“暮らしを支える医療”を学ぶ絶好の機会と捉えております。どうぞよろしくお願い致します。

ところで先日、多肉質の葉っぱと鮮やかな花色に一目ぼれして【リビングストーンデージー】を購入しました。園芸初心者でよく知らなかったのですが、この花、天気の良い日中しか咲かないのですね。

(わたしは仕事で不在・・・)せめて通りがかった人が眺めて楽しんでくれますように！

